



ストーリー5

なんだかほっとするこの風合い
札幌軟石の建物のおはなし


ストーリー5

なんだかほっとするこの風合い 札幌軟石の建物のおはなし

このストーリー
にまつわる遺産

ぽすとかん

札幌市資料館




札幌軟石は、4万年前、支笏火山の大規模な噴火による火砕流が札幌周辺で冷えて固まった岩石（溶結凝灰岩）。加工しやすく、耐火・防火性に富んだことから、明治初期より札幌をはじめ北海道内の建造物に多く用いられました。

ストーリー5

なんだかほっとするこの風合い
札幌軟石の建物のおはなし

ぽすとかん



平成31年4月にオープンした「ぽすとかん」は、かつての郵便局の建物で、その役割を終えてからしばらくは使われずにたたずんでいましたが、この建物を活用しようとする有志の働きかけで、クラウドファンディングで改修工事の資金を集めて交流施設としてオープンしました。札幌軟石を加工したグッズの販売を行うお店やカフェがあり、南区の新たな拠点になっています。

ストーリー5

なんだかほっとするこの風合い
札幌軟石の建物のおはなし

札幌市資料館



札幌市資料館は、1926（大正15）年、札幌控訴院として建てられた建物です。札幌軟石が使われた壁面は重厚感があり、施されたレリーフや細工に石工の仕上げ技術の高さが見られます。室内の回り階段の手すりなどは伝統工法ともいえる左官技術により仕上げられています。

ストーリー5

なんだかほっとするこの風合い
札幌軟石の建物のおはなし



◇アクセス情報◇

それぞれの建物にはまだまだ多くの物語があります。ぜひ訪れてみてください。

- ▶ ぽすとかん・・・地下鉄南北線「真駒内」から、じょうてつバス [12] 真駒内線（藤野線）乗車、
「石山中央」下車、徒歩2分

ぽすとかんから札幌市資料館は約1時間。札幌市資料館は地下鉄東西線「大通」からだと徒歩でも
20分ほど

- ▶ 札幌市資料館・・・地下鉄東西線「西11丁目」1番出口から徒歩5分